

議会だより

113号

2016.2



傍聴におとずれた平波大学生のみなさん

第4回臨時会	平成26年度決算を認定2~3P
第4回定例会	マイナンバー制度の条例制定	
	決算審査特別委員長報告4~5P
	決算審査特別委員会の主な質疑6~9P
	一般質問 3名が登壇 (第4回定例会)10~12P
	総務厚生常任委員会所管事務調査報告13P
	町民インタビュー・親しまれる広報をめざして14P
	町民の皆さんの意見を聞く会・要望意見書15P
	スポットライト「平波大学」・編集後記16P

一般会計・6特別会計合わせて1億9,122万円の剰余金

平成27年
第4回臨時会
10月29日~11月3日

平成26年度決算を認定

賛成討論

卯城議員

平成26年度決算について賛成の立場で討論いたします。

26年度の各会計は黒字決算であり、差し引き剰余金1億9,122万円を計上したことは今後に向けて貴重な財源確保となったところであり、財政歳入の5割以上を占める地方交付税の減額傾向にある中、後継者や新規就業者に対するの支援事業、プレミアム商品券の発行、子育て支援として中学生までの医療費無料化と子育て世帯臨時特例交付金などを実施したことは高く評価するところです。

町税・国保税の収納率が道内において最上級の評価を得ています。町民の納税意識の高さに敬服するとともに、今後も最小の経費で最大の効果となるよう強く期待するところです。

質疑

決算認定

平成26年度各会計決算については、特別委員会に付託し慎重に審議しました。主な質疑内容は6～9ページに記載しています。

- 平成26年度一般会計決算認定 認定
- 平成26年度国民健康保険事業特別会計決算認定 認定
- 平成26年度国民健康保険剣淵町立診療所特別会計決算認定 認定
- 平成26年度後期高齢者医療特別会計決算認定 認定
- 平成26年度介護保険事業特別会計決算認定 認定
- 平成26年度簡易水道事業特別会計決算認定 認定
- 平成26年度下水道事業特別会計決算認定 認定

補正予算

- 一般会計に193万円を追加しました。
主な内容は簡易水道事業特別会計へ繰出金51万円、南桜公園水道修繕に64万円、公共施設災害復旧費の倒木など処理業務に72万円などです。 可決
- 簡易水道事業特別会計に51万円を追加しました。
主な内容は、水質検査手数料外に47万円、上下水道の運営審議会委員増員による報酬3万円などです。 可決
- 下水道事業特別会計に10万円を追加しました。
主な内容は上下水道運営審議会委員の報酬に3万円、下水道法改正による研修旅費に7万円などです。 可決



賛成討論を発言する卯城議員

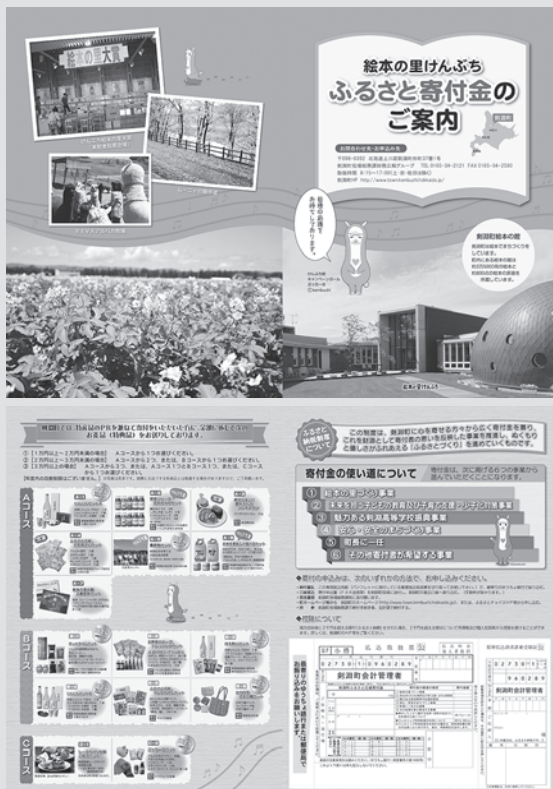


プレミアム商品券

ふるさと応援基金積立金に895万円

補正予算

- 一般会計に3,064万円を追加しました。
主な内容は、ふるさとと納税事務の特産品（お礼品）、パンフレット印刷費、ふるさと納税管理システム費などに494万円、ふるさと応援基金積立金に895万円、玄米バラ集出荷調整施設色彩選別機改修整備に675万円などです。 可決
- 後期高齢者医療特別会計に56万円を追加しました。
内容は北海道後期高齢者医療広域連合納付金です。 可決
- 介護保険事業特別会計に438万円を追加しました。
内容は、介護予防サービス給付費と、介護予防住宅改修費です。 可決
- 下水道事業特別会計に70万円を追加しました。
内容は、浄化センター電気設備の遮断機修繕費です。 可決



ふるさと納税のパンフレット

条例制定

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定
この条例は、マイナンバーの施行に伴い関連した特定個人情報の利用を行う場合に条例を定めることが必要なため条例を制定するものです。 可決

条例改正

- 国民健康保険税条例の一部改正
主な内容は、国民健康保険税の減免申請書の記載項目に新たに個人番号を記入をします。 可決
- 介護保険条例の一部改正
主な内容は、保険料の徴収猶予、減免の申請を希望する者は記載事項に新たに個人番号を記入するものです。 可決
- 町税条例などの一部改正
主な内容は地方税法改正で納税者の申請による換価の猶予制度が導入され分割納付の方法などを条例で定めるものです。 可決

発議

- 広報委員の辞任
卯城委員、生出委員、古山委員
- 広報委員の選任
高橋(一)委員、大澤委員、武山委員
高橋(毅)委員、畠山委員 可決
- 閉会中の継続調査の申し出
議会運営委員会
議会の会期日程など議会の運営に関する事項について
総務厚生常任委員会
所管にかかる新年度予算について
産建文教常任委員会
冬期間における道の駅の取り組みについて
所管にかかる新年度予算について

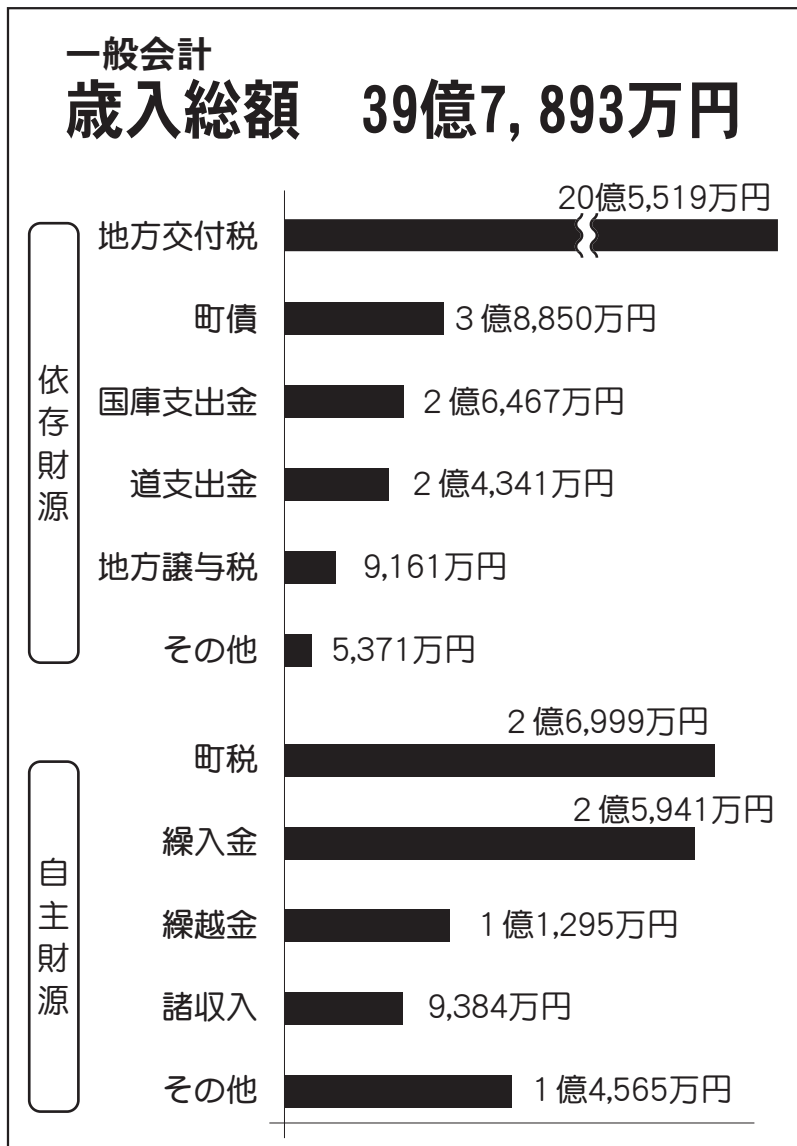
122万円を計上

その内5,500万円を
基金に積み立てる



高橋 一博
決算審査特別委員長

決算審査
特別委員長報告



平成26年度については、歳入総額で前年度4.35%減の54億4,587万9,172円、歳出総額3.2%減の52億5,465万5,438円で歳入歳出差引1億9,122万3,734円の剰余を計上し、この内一般会計では、繰越明許費繰越額を差し引き、500万円を基金に積み立てを行うことができました。これは健全財政を維持する上で大変意義があり評価する

ものであります。一方、地方債の現在高は、一般会計と特別会計を合わせた年度末残高は47億8,936万1,102円、前年度末比で623万5,141円の減ではありますが依然として財政運営圧迫の大きな要因となっております。今後についても財政の健全化を基本に諸事業の見直し、経常経費の抑制に努め適正な行政運営を望むところであります。

平成26年度は、主に各施設の改修工事に重点を置いて事業を実施したところで、重点施策である少子化対策に対する子育て支援として、小学生までの医療費助成を中学生まで拡大し、子ども医療費の無料化を実施したことは評価すべきであり、今後もさらなる子育て支援策を望むものであります。また、商工業振興策として購買促進プレミアム商品券事業補助の実施は商

店街の活性化効果に期待をすることです。

決算審査の中で特に次の点が指摘されています。各会計での不用額が多く、平成26年度は石油価格の下落による燃料費の減少が主な要因ではあるが、その他の部分においても予算見積りの精査を充分に行うことが必要といえます。次にじやがいもプロジェクトについては、再度目標を明確にし効果的な取り組みに期待するところです。以上この2点については、昨年も指摘されており、決算審査委員会での議論が反映されていないのではと疑問に感じます。

町税・国保税・住宅使用料などについては、高い収納率を維持しており担当課職員の努力を評価しますが、公正・公平の点からも更なる納付に向けて努力願います。

本委員会で指摘された多くの意見を平成28年度予算編成に反映させるとともに、効率的な行政運営、適正な財政運営により町民が今後とも安心して暮らせる活力のある町となるよう一層の努力を期待し、委員長報告とします。



更新されたロータリー除雪車



内部改修した給食センター

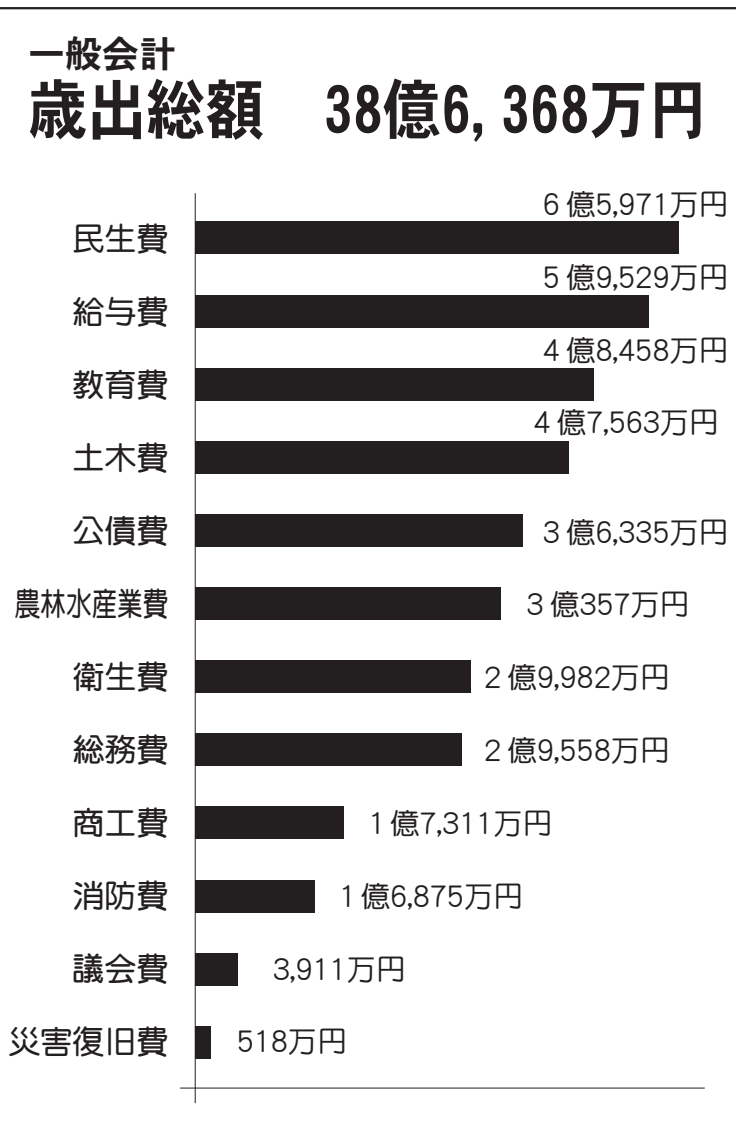


大改修されたB & G 体育館



じゃがじゃがデーのじゃがいもの詰め放題

剰余金 1 億 9,



平成26年度 6 特別会計決算報告

	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業特別会計	5億7,960万円	5億3,906万円	4,054万円
国民健康保険町立診療所特別会計	1億4,379万円	1億3,107万円	1,272万円
後期高齢者医療特別会計	5,085万円	4,931万円	154万円
介護保険事業特別会計	4億4,913万円	4億3,070万円	1,843万円
簡易水道事業特別会計	1億1,580万円	1億1,445万円	135万円
下水道事業特別会計	1億2,776万円	1億2,637万円	139万円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会のなかで出された主な質疑の概要を掲載します

一般会計歳入質疑

武山委員

今回の決算において地方交付税が1億円の減額になっていますがその内容について伺います。

竹内総務課長

減額の主な要因は過疎債の返済において未記載があった分の500万円と、単位費用額を低く抑えられたことが要因です。

武山委員

歳入で1億円減額にもかかわらず全体決算で1億円以上の余剰金が出た内容についてはどうですか。

竹内総務課長

年度途中からの原油安による燃料費の大幅削減と、全体的な各課の経費節減によることです。

卯城委員

加工センターと食のふるさと館の最近の利用状況と内容について伺います。

村上農林課長

利用状況はほぼ横ばいであり、

一部使用料免除もあり町民からの使用料が高いとの声もありますが、ので実費徴収をベースとして考えています。



売上が望まれる観光切手

大澤委員

指定寄附金の中のふるさと応援寄附金の中身と返礼品について伺います。

竹内総務課長

大口が3件と2万円、1万円がそれぞれ2件です。返礼品については準備の遅れで、27年からパンフレットも出来上がり今のところ順調に推移して70数件きております。

卯城委員

町債の中で剣淵町さぬき市児童交流事業債があります。ソフト的な事業を町債に乗せてくる理由を

伺います。
清水副町長

以前、過疎債はハード事業しか対象ではありませんでしたが、国から4年前にソフト事業が創設され、以来それに合うメニューに沿って申請しておりこの額の7割が後年の交付税で措置されます。

生出委員

剣淵の観光切手を観光協会が販売していますがその売り上げはどのくらい受けているのですか。また、現在残った分は何セットあつてどのように売ろうとしているのですか。

上林まちづくり観光課長

売り上げはその他雑入で受けておりますが昨年の販売は15〜16万円位です。現在700シートほど残っており値下げも含めて販売方法を検討中であります。

一般会計歳出質疑

武山委員

職員ストレス調査負担金はいつ頃からどのような形で調査を行っているのですか。

竹内総務課長

町では26年度から実施しており、全職員に筆記によるアンケート調

査を行い問題がある場合は産業医の医大の先生による個別面談を行っています。なお、27年度からは全国の市町村で実施が義務付けられました。

武山委員

街路灯維持費補助金は修理費も含めたものですか。また、LED化についてはどうですか。

竹内総務課長

これは各自治会に対する電気料の補助と一部修繕料も入っております。LED化については昨年大通りの街路灯を取り換えた事で補助金は対前年度40万円程減額となっており今後故障したものから更新したいと考えております。



街路灯LED化

決算審査特別委員会

生出委員

職員の研修のための旅費はどのくらい支出されて、どのような研修なのかを伺います。

竹内総務課長

研修の自身は主に上川総合振興局及び町村会が実施している研修がほとんどで年齢要件等もあり毎年計画的に参加しています。



外壁補修された剣淵駅舎

卯城委員

JR 剣淵駅舎外壁補修工事に伴う負担金245万6632円とありますが、駅の中は殺風景な感じがします。役場もお金を出す以上JRに要望などを出していく必要があると思いますが、どのような要望を行ってきていますか。

村椿総務課長補佐

町が管理しているのはバスの待

合所です。外壁に壁画をこの提案は上手く要件をクリアできず断念となりましたが、手すり等の要望は受け入れてもらいました。

武山委員

高齢者が増え子供が少ない状況下、民生費全体で対前年比13.6%の増です。当然致し方ない事業もありますが、財政が厳しい中で今後福祉経費は自然増という傾向が続いていくのか伺います。

田中住民課長

26年度は新規事業もあり、また保育所の修繕工事等で増加した要因はあります。平常的な業務は横ばいですが今後新制度により福祉費が増加する可能性もあります。

大澤委員

町外斎場使用料補助金は7万2000円余りですが町外での使用件数と対前年比について伺います。

板東住民課長補佐

26年度実績では土別市6件と和寒町1件の計7件です。前年比はさほど変わっていません。

畠山委員

ゴミ収集場での機械借上料200万円とありますがどのような機械を指すのですか。

板東住民課長補佐

タイヤシヨベルとブルドーザーです。

古山委員

一般ごみが増加しているのとことですが最終処分場はあと何年位使用可能ですか。

板東住民課長補佐

現状の計算では34年6月まで使用可能となっています。

生出委員

以前に使用していたゴミ焼却炉は解体の必要があると思いますが、かなりの金額を要することもあり国の補助金の活用も考えていますか。また、いつ頃までに解体する予定なのか伺います。

清水副町長

過疎債の活用も含めて検討していますが、財政事情もあり後期5カ年計画の中で実施していきたいと考えています。

武山委員

国保税の滞納繰越額が300万円からありますが、これが大きくなれば結果的に他の国保加入者負担が多くなることも考えられることから、徴収実績アップに向けた努力について伺います。

田中住民課長

国税優先もあることから分納計画を立てながら努力しているところ です。

大澤委員

高齢者等の冬の生活支援事業は灯油の値上がりから始まった支援だと思いますが、27年は燃料代も下がってきて支援がなくなることも考えられるが今後給付金の見直しについて伺います。

酒井健康福祉課長

ご指摘の通り灯油価格が下がってきていますので27年度は必要がないのかなと考えています。

畠山委員

生きがい活動支援事業等の委託先と配食サービス15名の利用は全町どこでも利用できますか。



高齢者配食サービス

矢口健康福祉課主幹

ひらなみ荘に委託しています。配食サービスは4町内が主で屯田町の方も1名利用しています。全町となると配達手段も考えて検討していかねければと考えております。

武山委員

各種検診業務での検診ごとの受診率を伺います。

松村健康福祉課主幹

成人病検診・特定検診は61%、がん検診はおさえてきていないところはありますが、肺がん検診4割・胃・大腸・子宮がん検診は2割となっています。その他職場で受けている方も多数いると思われれます。子どもはほぼ100%受けております。歯科は1歳から就学前で5割です。

生出委員

じゃがいもプロジェクトにおいて何か新しいものが開発されませんか。

上野農林課長補佐

剣淵の産地化、ブランド化を目指して取り組んでおり、新しい加工品とか、必要である事は認識していますが、開発には至っていません。

生出委員

今の答弁からするとプロジェクトのための123万円はあまりにも金額が大きいかと思います。内容をもつ少し詳しく説明をしてほしいのですが。

上野農林課長補佐

じゃがいもソングの制作で40万円、じゃがじゃがデーの経費21万円、企業PRのための東京での参加に22万円、備品購入で25万円などで残りは27年度会計に繰越しています。



助成導入されたFAX端末機

武山委員

農業者用FAX端末機更新助成は25年から実施されていますが、何名くらい対象となっていますか。また、この助成を見直すべきだと思いますが。

精進農林課長補佐

振興センター斡旋のものと市販とで180名程更新されています。補助は25〜27年の3年で区切るということで考えています。

武山委員

地域おこし協力隊の給与を含めた経費は国からも交付はあるとのことですがどの位の額がきていますか。

上林町づくり観光課長

協力隊の一人の任期は3年です。経費については概ねです。一人200万円が交付税で交付されていますが全額ではないので不足分は町で出しています。現在二人なので400万円交付です。

大澤委員

映画「じんじん」を成功させる補助金が26、27年度支出されていますが今後どういふうに考えているのかと、いつまで続けるつもりですか。

清水副町長

来年度DVDが発売されるのではないかと聞いていますし、じんじん2の制作もあり剣淵で再度ロケをしてほしいと願っているところです。これらを考えに新年度の中で検討したいと思います。

卯城委員

レークサイドについて伺います。この度副支配人と料理人が辞められたことですが、内容は分かりませんが今後の経営において心配される要因でもあるので、その後の補充等はどうなっていますか。

清水副町長

今言われたように、二人が辞められその後任を募集しているところです。まだ公表できる段階に至っておりませんが、経営改善に向け後継者を見つける努力をしています。

古山委員

河川維持管理事業の役務費の不用額の内容を伺います。

吉田建設課係長

大水・天候異常に対応するため当初予算では床さらいを主として計上していましたが、幸い発生が少なく1件のみの床さらいで済み不用額ができました。

生出委員

住宅管理について、25〜26年位から公営住宅の断熱工事で古い住宅から工事をしていますが、どのように行われていますか。

杉村建設課主幹

内部の方では風呂のユニット化



やっと始まった剣淵川柳切り

洗面台改修、給湯器に水回り改修、内窓の取り換え等を行っています。
畠山委員

手摺りをつけてほしいとかバリアフリーの希望があったときは受け入れてくれますか。
 原建設課係長

手摺りについては良いというお話をしていますが、退去時は現状復帰をお願いしています。また、バリアフリーの件は今のところ問い合わせはありません。

武山委員

河川改修等の件で、道の予算付けが少なく思うような工事進捗になっていない現状ですが、現状での経過を説明してください。

館野建設課長

町で対応できる音無川床さらいと元町浄化センターのところにポンプの設置について実施しています。他の河川の柳切り、堤防上にポンプ設置するためのかま場の整備などを強く道に要請しているところですが、道の単費事業のため要望どおり進んでいません。今後もし引き続き要請をしていくつもりです。

教育費

卯城委員

中学校費のなかでの各種検定受験補助金はどのような検定で何人くらい受けていますか。

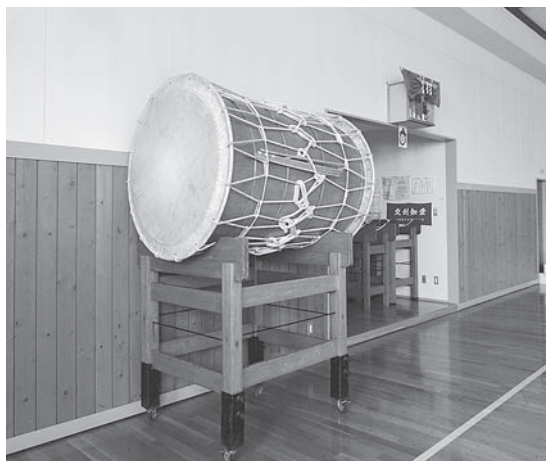
鹿野教育課長

26年度は5つの検定を受けております。漢字検定では延べ67名が受けており合格者は24名。英語検定は36名中15名の合格、数学検定は42名中15名の合格、歴史検定は10名中6名、理科検定は18名中12名が合格しています。

畠山委員

社会教育費の修繕費の内訳と、委託料の社会教育計画の委託先及び口承逸話の情報収集した中身は

今後どのようにしていくのか伺います。



修理をした長胴太鼓

宍戸教育課参事

修繕費については公用車の修理および武道館にある長胴太鼓の修理・絵本キャラバンカーの車検修理費等です。社会教育計画のコンサル委託先は日本コンサルタントグループであり、逸話の収集は26年度で映像と音で収録が終了しましたので27年度においてDVDにきちんと編集して将来的には学校教材か絵本の館にて貸し出し資料として活用していきます。

生出委員

絵本の館のホールAの搬入口が数年前から冬になると結露がひど

く床に傷みも出ていることから25年度にも提案したが26年予算にも上がっていないので今後の事を考えると西側の入口付近に増築か何かしなければ結露を防げないと思います。

半田教育長

10年前の整備をする段階で配慮が足りなかった点は反省しています。現状は認識していますので、どのような方法がとれるのか専門家に見てもらいたい経費的な事も含めて研究させていただきます。



結露対策が望まれる絵本の館搬入口

* 今回の決算委員会は例年同様、議長、議会選出の監査委員は質疑にかかりません。

答 申請時の相談にも応じている

問 マイナンバー制度のメリット
デメリットと町民対応については



早坂純夫 町長



高橋 毅 議員

10月よりマイナンバー(個人番号)が各家庭に届いている。しかし町民にとってメリット・デメリットも解りづらく、申請して良いかどうか戸惑っているものと思う。国では税や社会保障などに幅広く利用しようとしているが、セキュリティも含め不安要素も多いところである。町として住民説明と行政手続き上、1月より税の申告等マイナンバーの記入がどうしても必要なものと、高齢者や不安を感じている町民の相談にどう対応するのか、またマイナンバー詐欺も発生しているので、地域でのサロンの等を通して周知し、町民にとってメリットがある部分は充分活用してもらおうと思う。

住民の安全・安心を第一に考え、マイナンバー制度における町民対応について伺いたい。

早坂町長

マイナンバー通知カードを送付し郵便局の保管期間の超過などで役場に返送されたものが114通、その後再交付し、現在保管しているものが50通ある。1月より申請者に交付される顔写真付の番号カ

ードの申請については住民課で申請サポートと写真撮影を行う場所を開設している。電話での問い合わせも寄せられており、今後自治会集会などに出向き丁寧な説明に努めたい。また同制度を悪用した特殊詐欺についても随時注意を呼び掛けていきたい。

**平成28年度予算での
重点事項は**

高橋議員

町長はこれまで種まきした取り組みはそれぞれの働きで少しずつ芽を出してきていると言っているが来年度の重点事項は何か。

また28年は北海道日本ハムファイターズの中田翔内野手と石川慎吾外野手が剣淵町のまちづくり応援大使に決定した。両選手の力を借りる事により町の活性化が一層進むチャンスにもなるので、この事も含め町長の考えは。

早坂町長

27年度に引き続き①地域活力を育む産業の振興 ②未来を担う教育と医療・福祉の推進 ③安全で安心な暮らしの環境づくり ④



剣淵町応援大使になった両選手(一年間)

ふるさと納税は12月18日現在で653件、977万円になっているのでより力を入れていきたい。

早坂町長

ふるさと納税の現状についてはどうか。

高橋議員

ふるさと納税を活かす観光と交流、以上の4点を重点項目として考えている。日本ハムのふるさと応援大使については球団より職員が来られるので相談し可能な限り町のPRをお願いできればと思っています。

答 試験放送も含め検討したい

問 正午のサイレン廃止に伴うサイレン以外のお昼の合図が必要ではないか



高橋一博 議員

毎日正午に吹鳴していたサイレンが、消防のデジタル化に伴い平成27年1月1日より廃止になり現在に至っている。最近町民の中でお昼の合図がないので外での作業に不便を感じるとの声があるが、正午の合図に音楽を流すなど一度試験的に取り組む必要があると思うがどうか。

早坂町長

正午のメロディー等については、今後自治行政委員会議や町づくり懇談会等の意見も参考に試験放送も含め検討したい。



廃止になった正午のサイレン

根菜類導入による輪作体系の推進と施策について

高橋議員

本町の農業は高い転作率と畑作が水田耕作面積を大きく上回っているが必ずしも輪作体系が確立している状況ではない。輪作に根菜類を導入した輪作体系を推進するため馬鈴薯同様てん菜にも行政支援が必要ではないか。

早坂町長

根菜類の重要性は理解している。現在、てん菜作付推進事業で10a 1000円、てん菜共同育苗奨励事業でポット代10円350円支援している。JAから要請のあるピートハーベスターの更新に対しての支援は玄米バラ化施設関係の事もあるので慎重に対応したい。

高橋議員

今回の更新に行政支援がなくJA単独更新になると受益者負担が大幅に増加し、増反傾向にあるてん菜の作付面積が減少に転ずる恐れがある。また、生産者の高齢化もあり機械購入は厳しい状況で今後益々てん菜の収穫についてはJA委託が増加すると思われることから行政も支援すべきと思うがど

うか。

早坂町長

支援しないと言っている訳ではない。JAの支援について慎重に対応したい。

高橋議員

慎重に対応すると言つと不可能に聞こえる。JAの支援が剣淵の生産者につながるので慎重に結論を出してほしい。

本町と国外との交流に関わる通訳者の確保について

高橋議員

海外との交流を発展させるため通訳のできる人材が必要ではないか。

早坂町長

今後外国人含む通訳者の採用を検討したい。また、レークサイドや道の駅などに商品の外国語表示や指さし会話帳の利用等可能な範囲で進めていきたい。

施設の維持管理にかかる
コストの削減は



大澤秀明 議員

今後の行財政を考える時に、行政改革は行なってきたものの維持管理にかかるコストの削減についてはほとんどされてきていないのが現状だと思われる。各施設の補修改修が重なる時期でもあり、少しでも長く、効率よく施設を利用していくためには、維持管理にかかるランニングコストの縮減は必須である。以上のことから次の3点について伺いたい。

①施設の照明のLED化について

市街地の街路灯をLED化した事で大幅に電気料の削減に成功していることから町内各施設照明についてもLED化すべきでは。

早坂町長

大通街路灯LEDユニット取り換え工事により自治会負担の電気料節電効果も顕著に表れている事から新年度に環境省の補助事業を申請し、街路灯も引き続きLED化を進めたい。公共施設のLED化についても各種補助事業の情報を得ながら計画的に進めたい。



LED化された街灯

②電力自由化について

大澤議員

電力自由化に伴い各自治体で電力会社の契約の見直し相次ぎ、コスト削減に成功しているが町でも早急に検討すべきでは。

早坂町長

27年8月分から町内主要9つの公共施設を新電力会社に契約替えを行なっている。削減額の効果は4カ月で約20万円という数値が出ている。他の施設においても順次契約替えが可能かどうか検討していきたい。

大澤議員

今後参入会社も増え流動的な情勢となることから定期的に見直し、常に最善の結果になるように取り

組みそれによって節減されたお金を町民の生活に関わる部分に使えるよう取り組むべきと思うがどうか。

早坂町長

是非そのような形になるよう努力していきたい。

③維持管理費の削減に向けた総合計画策定について

大澤議員

ライフサイクルコストという言葉があり、これは建設費の他に運用費や補修費、管理費等総合的にかかる費用を総称したもので、一般的に建設費の4.5倍の費用になるといわれている。それらを抜本的に見直しエネルギー問題だけではなく全体的な維持管理費の削減に向けた総合的な年次計画を策定すべきと考えるがどうか。

早坂町長

かかる経費を総合的に捉える事は大事なことだと思つので公共施設全般の長寿命化計画を28年度に立てられるかを検討し、コスト削減と起債とのバランスも考えて計画的に進めたい。

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

●診療所入院病棟の活用
●福寿寮の今後の在り方

▼調査日

平成27年11月26日

▼調査の概要

一 旧入院病棟の利用状況

ア、点滴室として月平均9.6名利用

イ、感染症疾病患者の待合室兼診療室として、インフルエンザ患者等に利用

ウ、2部屋は社会福祉協議会が貸し出し用電動ベッドの保管等の物品庫として使用

二 福寿寮の利用状況

ア、平成27年11月現在で女性が8名入居し2部屋空いている。募集しているが入所希望者も待機者もない。男性も入居可能だが現在はいない。

イ、利用者からの更なるサービスの充実の要望も住民からの入所希望もなく、空き部屋もあるので同じ形態の拡張の考えはない。

▼調査の所見

一 診療所入院病棟の活用は

病院退院後の生活の場を確保すること、支援や介護が必要な人達への在宅サービスは必須である。高齢者は年と共に身体が衰え病気になる在宅療養や入院することとなるが入院は3カ月しかできないため現状では退院後の行き先が困難であり、町外施設の世話になっている。そのため診療所の入院病棟をショートステイに活用してみてもと調査したが、ショートステイの単独事業所としては20床以上あることが要件となっているので活用できない。今後退院後の受け皿と入院病棟の活用は別の視点で方策を考えなければならぬ。

二 福寿寮の今後の在り方

福寿寮の設置条例では男女の区別はなく入所定員は10人で現在のところ女性8人が入居し、2部屋が空いている。男性からの入居希望は無いが、高齢者福祉の向上を図るため、男性1人暮らしの把握調査、福寿寮のPR、どういったサービスが必要か、そのニーズにあったアンケート調査をすべきである。



空室のある福寿寮

調査の中で

次のような質疑が

Q. 病院から退院をしてもひらなみ荘に入所できない人や、介護疲れ防止の受け皿として入院病棟をショートステイの場として活用することはできないか。

A. ショートステイで活用するには最低20床が必要となる。診療所の増築はあまりにもコストがかかり過ぎること、また、

Q. 人員確保も難しいことから他の活用を検討していきたい。
福寿寮の定員は10名で、現在入居者は8名ということだが、定員割れはいつからか。

A. 今年からで、死亡された方と他の施設に移転された方がいた。

Q. 現在利用者は女性のみだが、男性及び、夫婦の入居は可能か。また、そのために施設の拡張を考えているか。

A. 現状で夫婦の入居はできないが、男性については入居の希望があれば検討していきたい。また、施設の拡張については入居希望者もないことから考えていない。



点滴室等に利用されている入院病棟室

親しまれる広報をめざして

町民インタビュー

インタビュー 項目

- ① 興味を感じる記事は
- ② 紙面の良い点・改善点
- ③ 町や議会に対する意見

みんなの声がまちづくり

福祉と子育て支援を 期待します

東町 窪井 たまさん



- ① 議会だよりは表と裏の表紙を見てから一般質問の特に女性議員の質疑が気になります。
- ② 字も大きく写真も多いので大変読みやすい広報紙だと思います。
- ③ 子ども達が、この町に生まれて良かったと思える町づくりを。
特に子どもの教育・スポーツなど健全育成のためハード・ソフト両面から支援を期待します。

次期改選に向けて議員定数は慎重に結論を出してほしい

緑町 佐藤 武さん



- ① 町の問題がみえるので、一般質問。他には町民インタビュー。
- ② 写真が多く使われていてわかりやすい。各議員の質疑応答が載っているのが良い。
- ③ 君の椅子事業に対する疑問。
(商品券など地元還元でき、経済的に役に立つお祝いも大事だと思います。) 議員の定数割れを次期に向けてどう考えているか聞かせてほしい。(議会に対して)

要望意見書

平成27年第4回定例会に意見書が提出され審議の結果全会一致で可決し、内閣総理大臣以下関係機関に送付しました。

町民の声を国政に

TPP「合意」内容の徹底した情報公開と

検証を求める要望意見書

○TPP交渉は10月アトラントの閣僚合意において大筋合意に至ったと発表されました「合意」内容は農林水産物においては全体の8割が即時または段階的関税撤廃の対象となり米をはじめとする重要5品目も無税、または低関税の特別輸入枠が設定されるなど、高水準の農畜産物の市場開放が強行されようとしています。TPP「合意」に対し農業者をはじめ多くの人々は「不信、いきどおり、不安」を感じております。高い水準の市場開放によって家族農業を中核とした我が町の農村社会や地域経済が疲弊する恐れがあります。以上のことから次の2点について強く要望します。

記

1. 政府においては、国会における承認手続きに入る前に交渉過程を含めた徹底した情報公開を行い、TPP合意内容の全容と影響などについて国民各層に対する説明責任を果たすこと。また、国会においては、衆参両院の農林水産委員会における国会決議との整合性について真摯に徹底した検証を行うこと。その結果、国会決議に違反すると判断された場合は、速やかにTPP合意を撤回すること。

2. 食料自給率の向上や多面的機能の発揮など我が国の農業・農村が将来にわたり、持続可能となる国境措置を担保するとともに、農畜産物の再生産が保障される経営所得安定対策などの確立と、国内自給率向上を図る、「食料・農業・農村基本法」に改訂すること。

議員定数等議会改革調査特別委員会経過報告

平成25年12月に本町議会議員の改選が行われ、定数に1名足りないうちでの議会運営を余儀なくされていきます。

住民の代表である議会は、町政執行機関に対する監視役としての機能を十分果たしていかなければなりません。そのために議会の議事運営、各種委員会の運営など、町民の付託に応えるため、住民に開かれた議会を目指さなければなりません。

こうしたことから、次期改選に



町民の皆さんの意見を聞く会の様子（12月8日）

向けて議会のあり方を審議することとは必至の課題であり、議員定数に係る調査研究の諮問を平成26年12月11日に大河議長より受け、昨年3月の第1回定例会において議員定数等議会改革調査特別委員会を議長を除く8名の議員で設置しましたところ です。

委員長に武山啓一、副委員長に生田孝男を選任し昨年の3月26日第1回の委員会を開催し今後のスケジュールについて協議し議長への答申を28年12月までに行うことと決定しました。以下今日までの経過は次の通りです。

昨年12月までに7回の委員会と町外視察研修を実施し、町外視察では和寒町と幌加内議会を訪ね状況を聞き取りました。また町民の意見も聞いてはということと昨年12月8日に町民センターで「町民の皆さんの意見を聞く会」を実施したところです。大変貴重な意見をいただきましたので、今後はこのことも十分に協議の中で話し合いながら結論を出していかなければならないと思います。

スポットライト

平波大学

平波大学新規入学生 大募集



平波大学生の社会見学の様子（増毛にて）

平波大学では学習の一環として議会の傍聴を実施しております。議会を傍聴した在学生は、緊迫した議場の空気に圧倒されたのか緊張した様子で皆さん真剣に聞き入っていました。

さて、平波大学は昭和49年に開設して、42年が経ちました。これも剣淵町をはじめ、各関係機関の深いご理解とご協力、町民の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

主な活動内容には月1回の学習会（書道、陶芸、押し花、一般教養の講習会等）や、高校グラウンド、兵村碑等の清掃奉仕があり、絵本まつり等の地域活動へも積極的に参加しています。また春・秋の社会見学や2年に1回修学旅行にも行きます。お陰様で、平成27年度の行事も3月17日の卒業式をもって、全日程が終了の予定であります。多くの先輩方が残された平波大学の良き伝統を受け継ぎ、誰もが楽しく集い、自らが楽しく学ぶ生涯学習の場として、なくてはならない交流の場として、多くの方々にご利用していただきますようお願いいたします。つきましては、平成28年度平波大学新入学生募集を行なっております。剣淵町在住で概ね60歳以上の方であれば、どなたでも入学することが出来ますので、入学を希望される方がおられましたら、教育委員会まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

社会教育グループ
生涯学習推進アドバイザー
黒田峰俊さん寄稿

議会の主なうごき

10月	11月	12月	1月
29日	2日	7日	7日
第4回町議会臨時会	決算審査特別委員会	議会運営委員会	剣淵町消防出初式
29日	5日	8日	10日
決算審査特別委員会	町議会臨時会本会議	町民の皆さんの意見を聞く会	剣淵町成人式
30日	12日	14日	12日
決算審査特別委員会	議会広報特別委員会	議会運営委員会	議会広報特別委員会
	16日	21日	16日
	特別委員会	議会広報特別委員会	商工会優良従業員表彰式
	19日	28日	18日
	特別委員会	議会広報特別委員会	議員定数等議会改革調査特別委員会・広報特別委員会
	26日		
	特別委員会		

編集後記

本紙面より3名の広報委員が改選されました。町民の皆様にご覧で頂けるよう今後とも新メンバーで努力しますので是非目を通して下さい。今回は傍聴に訪れた平波大学の皆さんに表紙を飾っていただきました。

今年が町民の皆様にとって幸せな年でありますようにお祈りいたします。

- 広報委員長 高橋 一博
- 副委員長 大澤 秀明
- 委員 武山 啓一
- 委員 高橋 弘毅



新広報委員のメンバーです。よろしくお祈りいたします。